

審議会評価

多摩市一般廃棄物処理基本計画「ごみ減量目標」進捗状況（令和元年度）について

◆多摩市の廃棄物減量目標

規定計画	計画の実施状況・達成度	評価
〔平成23年度 ⇒ 令和4年度目標〕	〔令和元年度〕	A
① 排出量（燃やせるごみ・燃やせないごみ・粗大ごみ・有害性ごみ）を10%削減（家庭系・事業系とも毎年1%ずつの着実な減量）	① 排出量は、令和元年目標値7%減に対して <u>10.9%減</u>	
② 資源化率40%以上を目指す	② 資源化率 <u>33.8%</u>	
③ 焼却残渣を資源化し埋立量をゼロに近づける	③ 埋立量 <u>0 t</u> (平成27年4月以降埋立量0 t)	
審議会付帯意見		
<p>排出量は目標値を達成しているが、可燃・粗大ごみが前年度より増加している。原因としては、特殊事情（都営住宅の建て替えによる転居の増加、コロナ禍での生活様式の変化）があるが、予測可能なものには、対応する施策を実施すべきである。</p> <p>資源化率は、地域性（集合住宅が多く、資源の収集効率が良いため、資源の中でも重量比が高い紙類、特に新聞は販売店回収に多くが流れ、市の資源化率に算定されてこない）を考慮すると現状において過大な目標設定であると考えられる。</p>		

【評価基準】

A 予定以上に進捗している B ほぼ予定どおりである C 予定より遅れている・取り組みが足りない

◆市民1人当たりごみ減量目標

単位 (g/人日)

	基準値(H23年度)	目標値(R4年度)	目標値(R元年度)	実績値(R元年度)	評価
燃やせるごみ	599.3	539.4	557.4	<u>539.9</u>	B
燃やせないごみ	31.8	28.6	29.6	<u>16.4</u>	
粗大ごみ	21.8	19.7	20.3	<u>25.3</u>	
有害性ごみ	1.1	1.0	1.0	<u>1.0</u>	
合計	654.1	588.7	608.3	<u>582.6</u>	
審議会付帯意見					
<p>コロナ禍における生活様式の変化などにより、前年度より微増した。現状、多摩地域市町村の中でも下位となっているため、さらなるごみ減量に取り組むべきである。</p>					

【評価基準】

A 予定以上に進捗している B ほぼ予定どおりである C 予定より遅れている・取り組みが足りない

◆総ごみ量減量目標

単位 (t/年)

	基準値(H23年度)	目標値(R4年度)	目標値(R元年度)	実績値(R元年度)	評価
総ごみ量	41,911	40,142	40,752	<u>38,185</u>	A
審議会付帯意見 集団回収の充実、食品ロス削減への取り組み、2R（リデュース・リユース）を進めるべきである。					

【評価基準】

A 予定以上に進捗している B ほぼ予定どおりである C 予定より遅れている・取り組みが足りない